

TRY

平成31年
1月号

北見商工会議所青年部事務局

〒090-0023 北見市北3条東1丁目 北見経済センター内
TEL (0157) 23-4111・FAX (0157) 22-2282 E-mail info@kitami-yeg.jp
URL <http://www.kitami-yeg.jp>



2019年も よろしくお願ひいたします



北見商工会議所青年部
会長
随 行 一 臣
有限会社ドライケミカル北見
代表取締役

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。昨年4月に新たな体制の下にスタートし、早いもので9ヶ月が経過しました。これまでの活動の中で会員の皆様、OB会員の皆様、北見商工会議所関係団体の皆様、北海道内YEGの単会の皆様と多くの方々のご理解とご協力を賜りました事を心より御礼申し上げます。

金林直前会長より襷を引継ぎ「更なる躍進へ、今こそ行動を起こそう」というスローガンを掲げさせていただき、青年経済人としての更なる成長と青年部活動に積極的に参加する意欲を期待しているところであります。現在は104名の会員をもって4つの委員会体制で活動を行いそれぞれ特色ある例会を企画いただきました。

総務広報委員会は会員定期総会の運営を会として初めて取り組み、総会への参加率向上に様々な工夫を実践していただきました。さらには諸会議への出欠返信回答の意識向上も進めていただいているところであります。

研修委員会はYEGメンバー企業の組織力向上と力強い経営の基盤という観点から「企業のブランド化」として様々な手法を用い担当例会を企画運営していただきました。なかでも9月例会では、地域に愛され必要とされる街の電気屋さんとしてマスコミでも多く取り上げられている「でんかのヤマガチ」の山口勉社長をお招きし、おもてなし企業経営をブランド化として成功したお話を聞く機会を設けていた

きました。メンバーも大変関心を持って拝聴致したところでありました。

親睦委員会では青年部内で北見ぼんちまつりのぼんち村運営に中心的役割を担っていただき、お祭りに対しての資金造成活動、会員や他団体の皆様との親睦交流を先頭に立つて実践していただきました。

また昨年初めて企画したぼんち祭り資金造成事業のビールパーティーにも多くの市民の皆様足を運んでいただき盛況の中で終える事が出来ました。組織づくり・20周年準備委員会では今年度は組織作り例会に特化し、会員相互の結束力と一体感を得る企画を設けていただきました。YEG活動についての様々なアンケート調査からの青年部に対する熱い思いや気づきを共有する事で組織としての絆を一層深められたものと思えます。

残り1年かけて2020年にひかえた青年部20周年に向け、仲間どうしの結束を強固なものとし、組織が一枚岩となっていけるよう会員一同邁進して参りたいと存じます。今後とも皆様方のご支援とご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

現状から 次のステップへ

本例会は20周年に向けて「組織づくり」に特化し組織運営の在り方を再認識して得る「気づき」を、北見YEG全体で共有し会員相互の結束力と一体感を得られるよう例会を開催いたしました。

第一部では、現状把握のため事前にメンバー全員にアンケートを配布し、87名からの回答を基にアンケートの結果を円グラフにまとめ発表しました。今回のアンケートは、選択肢を選ぶだけではなく、その選んだ理由を記載することでYEGに対する関わり方や考え方の現状、メンバーの本音を聞くことにより「気づき」に繋がったと考えます。

事経験者などを考慮し、肯定派と否定派に分け配席しました。配席は急遽欠席や出席になったメンバーに対してでも臨機応変に対応させて頂きました。事前のアンケート結果から、特に一層深く考えたいテーマを6つにし、6チームに分かれそれぞれが違うテーマに対し、当委員会メンバーがコーディネートしながら肯定の意見、否定の意見をしつかりと出し議論して頂きました。本来であればデイベートは最後に肯定の意見、否定の意見を聞き、どちらかの主張に勝敗を判定し決めてもらうものですが、今回は「気づき」を得る事を目的とした為、判定までは行いませんでした。当初考えていた時間配分の予定では時間が足りず、話し合いを重視したいことから、少々時間を延長しながらでも多くの意見を出してまとめ、最終

弁論ではメンバー全員に向けて真剣に話し合った結論を緊張感あふれる中で発表して頂きました。違うテーマについて議論した他のチームの意見を聞くことも、様々なYEG活動についての「気づき」はあったことと考えます。

今回のアンケート結果やデイベートで出た意見・「気づき」は、20周年へ向けた強固な組織づくりへの次のステップへ繋げる為の重要な参考意見とし、今後の委員会運営に役立てていくと共に、多くのメンバーのご協力を頂きました事に感謝申し上げます。



地域に根ざす北見YEGが 企業ブランドを築くための 経営戦略

6月例会において、「地域に生きる北見YEGが企業ブランドをデザインするために！」をテーマに開催し、企業ブランド化に成功した株式会社ヤマグチ（でんかのヤマグチ）の事例紹介を交え、「弱みを強みに変える」、「発想の転換」、「全社員が共通・共有となるベクトルを持つ」といった企業ブランド化の第一歩となる独自に思考した内容を提唱させて頂きました。

そこで9月例会につきましては、当委員会が提唱した3つのキーワードを更に深掘りすべく、6月例会時に事例紹介で採り上げさせて頂きました、株式会社ヤマグチ代表取締役 山口勉氏を講師に招き、有効な経営戦略を学ぶことにより経営力向上に資することを目的に企画・開催致しました。約2時間にも及ぶ講話の

内容につきましては、近隣に6店舗もの大手量販店がしのぎを削る競合地域にありながら、22年連続黒字、無借金経営、年商10億円超に押し上げた経営の実例戦略として、1安売りから高売りへの粗利重視という逆転の発想、2高売りを実現させるための顧客への徹底したサービス（付加価値）の実施、3効率・効果的にサービス（付加価値）を展開するための商圏選別等の業務リストラ策、4粗利重視による目標管理の導入、5顧客とのパイプをより強固にするためのイベントの仕掛け、そしてそのことによる「顧客と営業マン」、「顧客と会社」という2本のベルト（密接関係）の構築、6従業員の意識向上を図るための競争原理、といった多岐に渡る内容でありました。

北見YEGメンバーにおかれましては100名

を超える団体であり、業種も違えば自社の置かれている状況や環境等も様々であると思いますが、今回お招きした山口氏の講話を通じて、経営上における何らかの気づきやヒントを得、自社の今後の経営に役立てて頂ければ幸いです。また、例会終了後も、今回参加して頂いた複数名のメンバーから、「講話にあった内容を自社で実践し始めた」、「社員教育の一環として例会で使用したDVDを貸してほしい」などのご報告や問い合わせがきており、研修委員会としての意義・目的を少しは達成できたのではないかと思います。



変身〜返信率 100%青年へ〜

北見商工会議所青年部は平成12年10月の設立以来、数々の例会や事業を実施すること、会員相互の交流と自己研鑽に努め、組織強化を図ってきました。結果、現在では会員数が100名を超える大きな単会となり、確実に進歩しています。

しかしながら、出欠の可否に代表される各種案内への返信率については少々伸び悩んでおり、その確認等に苦心している現状です。

そこで本例会では今後の案内に対し返信率100%を達成出来るよう、返信率向上を目的とした例会としました。

例会は第一部と第二部の二部構成とし、第一部の前半は北見YEGにおける返信の現状として前期・今期の各委員会の正副委員長及び事務局担当者へのヒアリング調査結果を発表し、後

半では出欠確認ツールについてメリット・デメリットを洗い出すことで、返信についてソフト面とハード面の両方から解説をしました。

第二部では第一部の内容を踏まえ、メンバーにも考えていただきたいテーマとして『返信率を上げるために、どうやって委員会内で意識付けを図るか』、そして『返信率を上げるための有効なツール』の2つをピックアップ、各委員会に分かれそれぞれ協議して頂きました。当委員会メンバーが各テーブルをサポートしながら多くの意見を出して頂き、約20分の協議の後、結果発表して頂きました。各委員会から返信率について様々な主張、見解が示され、協議結果発表は各委員会の個性がそれぞれ良く出たものとなり、おり、発表によって相互の意見に触れ、共有するこ

とで、新たな発見もあったことと考えます。

本例会をスタートラインとして、総務広報委員会は返信率に対する意識向上を推進していきま



仲間から学ぶ楽しさ

本例会は8月例会に引き続き20周年事業へ向けた「組織づくり」に特化をし、「北見YEGの楽しさ」を会員同士で共有することで、組織としての絆を一層深めてもらう目的で開催致しました。

参加された皆様には肩肘を張らず楽しい雰囲気を感じて頂きたく、会場を畳や風船で装飾を施し、飲食を交えながらの例会に皆様は驚かれた事かと思えます。

例会内容は、くじ引き抽選で当てられた方が登壇し、YEG活動に関するテーマ10個の中から1つを選択、3分以内でスピーチをして頂きました。テーマを複数用意したことにより、各々の想いに合ったテーマ選択が可能だった事や、多くのメンバーが飲食を交えながら直会の様な雰囲気に参加して頂いた事により、YEGの楽しさ、思い出、感動、笑い、共感を共有できたかと思

ます。当初、スピーチの時間を3分以内と決めておりましたが、多くの発表者が3分を過ぎても話が終わらなかったのは本音を発信してくれた証と当委員会は考えます。

反省点としては、発表者の抽選方法を風船割りゲームへと変更した際に、風船の割れる音により下の階から苦情が入り、急遽じゃんけんへと変更せざるを得なくなってしまう事です。今後、例会当日の他会議室のスケジュールも把握し円滑に進行できる様、設えていきたいと思えます。

今回、多くのメンバーの本音を引き出し、会場全体で楽しい時間を共有できた事、ご参加頂いたメンバーの皆様は笑顔で参加して頂いた事は今回の本例会の目的であり、20周年事業へ向けた当委員会の役割をひとつ達成できたと実感しております。



新しい仲間を 募集しています

以前からYEGに興味があったという山下さん。「YEGでたくさんの仲間を作って北見をもっと活性化していきたいです」と今後の抱負を語ってくれました。



北見商工会議所青年部
親睦委員会
代表
山下 綾乃
Luminous



NEW FACE

新入会員紹介

12月までに1名の新たな会員が入会いたしました。今後大きな力となる新入会員の皆さんをご紹介します。

北見YEGで
繋がろう!!

会員募集



北見商工会議所青年部（北見YEG）では、新入会員を随時募集しています。

北見YEGとは会員相互の親睦を深め、企業経営者及び企業幹部としての研鑽を積み、北見商工会議所の事業活動への参画と協力を通じて、地域における商工業の振興と発展に寄与する団体です。

定例会や委員会などのほか、会員交流事業も活発で、対外的にも積極的に活動しています。

興味がある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

商工会議所青年部

〈YEG〉って？

商工会議所青年部は、次代の地域経済を担う若手経営者・後継者の相互研鑽の場として、また、青年経済人として資質の向上と会員相互の交流を通じて、企業の発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的としています。

活動の中心は、あくまでも地域経済をリードする若き企業経営者の勉強の場であり、綱領・指針に則り、企業の発展と同時に、地域経済の発展を図る商工会議所の一翼を担うという理念をもとに、各地の商工会議所に設置されています。

現在の会員数は、およそ28,000人（日本商工会議所青年部（日本YEG）加盟）を数えるまでに大きく成長してきました。青年部出身の会頭、副会頭も増え、常議員、議員を合わせると約5,500人になりました（現役会員を含む）。また、地域の事業者の後継者として若さと情熱をもった若き経済人として、産業界のリーダーとして活躍しています。まさに「若き起業家集団」として、地域の次代を担う志の高い経営者の育成に貢献していると確信しています。日本YEGは、ますますその存在と責任の重さを感じながら、真に地域が繁栄していくためのリーダーづくりに努力していきます。

YEG会員 企業訪問

株式会社日専連ニッケ
コーポレーション
経理課課長



北見商工会議所青年部
組織づくり20周年準備委員会所属

歯黒 憲忠さん



PTA活動や地域のお祭りなど、仕事を離れても地域との関わりが深いそうです。「すべて楽しく活動しています。たくさんの人と接することは勉強にもなりますね」と話す実直な人柄が多くなると感じました。

歯黒さんはクレジツト事業やドコモショップ運営、北見市上下水道局料金センター料金収納業務などを行う株式会社日専連ニッケコーポレーションで経理課課長として活躍されています。「当社は創業以来、半世紀以上にわたって、クレジツト事業を中心に地域密着のサービスを展開しています。地域とともに発展し、地域に貢献できる企業でありたいですね」と話す歯黒さん。YEG活動はもちろんだら、